



みらいへつなごう ～ちょうふのかんきょう～

ねんどぼん
2021 年度版
2021 年 12 月発行
かんこうぶつとうろくばんごう
刊行物登録番号
2021 - 150

- 発行：調布市環境部環境政策課
 - 連絡先：電話 042-481-7086 (直通) FAX 042-481-7550
メールアドレス：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp
- ※市のホームページでも環境情報を提供しています。



この情報誌は、小・中学生のみなさんに、調布市の環境をよりよく知っていただくことを目的に作成しています。

ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん 調布市多摩川自然情報館に遊びに来ませんか

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室や、多摩川のミニ生態系を再現したいきものプール、自然環境に関する本をそろえた学習室があります。土日祝日は解説員がいます。



また、情報館内のようなすを 360°すみずみまで紹介するバーチャルツアーを行っています。ぜひ見てください。

多摩川自然情報館



情報館バーチャルツアーへ

情報館のYouTubeチャンネルを開設しました

情報館で行ったイベントのようすや市内の自然や生きもののようすを配信しています。



情報館YouTubeへ



展示室のようす。水槽の魚の動画も見られるよ。



学習室のようす。どんな本が置いてあるかも分かるよ。



ちょうふしたまがわしぜんじょうほうかん 調布市多摩川自然情報館

調布市染地 3 - 8 - 26

開館時間：午前 9 時 ~ 午後 5 時 (土・日、祝日も開館しています。)

【お問い合わせ】

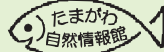
- ・当館運営受託事業者 (株)セルコ 03 - 3406 - 1724
(平日：午前 10 時 ~ 午後 5 時 30 分)
- ・当館携帯電話 080 - 2087 - 9009
(土・日、祝日 (年末年始を除く)：午前 9 時 ~ 午後 5 時)
- ・調布市環境部環境政策課 042 - 481 - 7086
(平日：午前 8 時 30 分 ~ 午後 5 時 15 分)

公共交通機関、自転車をご利用ください。(駐輪場があります。)

●交通アクセス

調布駅南口バス乗り場

- ④「多摩川住宅西」行き (調 45・46 系統) に乗車
- 「桜堤通り」下車徒歩約 2 分 (約 0.1km)



【MAP】



※マスクの着用や手指の消毒など、感染防止対策に引き続きご協力をお願いします。

エスディーズ かんきょうもんだい SDGs と環境問題

たまがわしぜんじょうほうかん
多摩川自然情報館で
パネルを展示するよ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは、平成 27 (2015) 年に国連サミットで決定された「持続可能な開発目標」のことで、令和 12 (2030) 年を目標に、全世界で「誰一人取り残さない」持続可能でさまざまな価値観を認め合う社会を実現するための 17 の目標が決められています。

この目標の中には、環境に関連するものも多くあります。環境について考えてみましょう。



SDGs の 17 の目標

かんきょうもんだい シンク グローバリー アクト ローカリー 環境問題を学習するため「Think Globally. Act Locally.」

環境問題は、身近な事から地球規模の事まで幅広い範囲に広がっています。

環境問題を考えるうえでの標語「Think Globally. Act Locally. (地球規模で考え、足元から行動せよ)」のように、環境問題を解決するためには、一人ひとりが環境問題を考え、身近にできることから行動することが大切です。

魚とりや昆虫採集などのイベントに参加してみよう!



多摩川でのイベントのようす

総合学習などの授業を通して環境について学ぼう!



課外学習のようす



ちきゅうおんだんかぼうし 地球温暖化防止について

近年、CO₂ などの温室効果ガスの排出量が増えて、自然災害が多発するなど、地球環境は危機的な状況になっています。

この危機に取り組んでいくため、市は 2050 年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

地球温暖化は、今後 10 年の取組が大きな分かれ目といわれており、一人ひとりの行動の積み重ねが重要です。

オフ ・おうちで省エネ!



CO₂ を発生しない「再エネ」のことを調べてみよう!

都市美化について

市では、自治会や商店会、事業者などの方々と協力し、駅前や多摩川、野川の清掃活動（クリーン作戦）を行っています。

まちの清掃活動は、海に流れ込むプラスチックごみを減らすことにもつながります。



・ポイ捨てはやめよう！



・ごみ拾いに参加してみよう！



市内で行っているごみ拾いのようす

水と緑の保全について

水辺や緑は、生物多様性保全・人と自然のふれあい・良好な景観・防災などのたくさんの機能を持っており、都市に暮らす住民が心地よく潤いのある生活を送るために欠かせません。

また、水と緑を保全することは、海の豊かさを守ることもつながっています。



・自然観察をしてみよう！

・身近な自然にふれてみよう！



まとまった緑や水が残る深大寺・佐須地域

3R

3R, 食品ロス

3Rについて

3RとはReduce（できるだけごみの量を少なくする）、Reuse（一度使ったものをごみにしないで何度も使う）、Recycle（使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作る）の頭文字をとったものです。

使い捨て商品はできる限り避け、繰り返し使えるものを大切に使いましょう。

おうちでも3Rに取り組みましょう。



食品ロスについて

「食品ロス」とは、まだ食べられたのに捨てられてしまった食べ物のことです。日本では、年間600万トンの食品ロスがあり、国民一人あたりお茶碗1杯分（約130グラム）が毎日捨てられている計算になります。

もったいない「食品ロス」を減らすための取組を実践してみましょう。

また、家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉施設などに寄付する「フードドライブ」というボランティア活動があります。市でも年3回ほど開催しています。

みなさんのご家庭にもいただき物や買いすぎた物などがありますか？



・食べ残しを減らそう！ ・使い切れる分だけ買おう！



フードドライブの受付



集まった食品

こども版調布市環境基本計画を発行しました

市では令和3年7月に、こども版調布市環境基本計画を発行しました。調布市の環境の今、環境をよりよくするために市が取り組むこと、みんなで取り組んでいく

ことなどをまとめています（全12ページ）。ぜひホームページをご覧ください。

詳細は市ホームページ
こども版調布市環境基本計画へ



こども版調布市環境基本計画とゴヤたん



調布市が目指す将来像と基本目標

コラム

生物多様性について

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことをいいます。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て支えあって生きています。

令和3年4月に、絶滅の危険性がある野生生物種のリスト「東京都の保護上重要な野生生物種」が改定されました。今回の改定により、市内では比較的よく見られるものの、都内全域で見ると個体数を減らしているカシラダカ・ホオジロ・セッカ・イワツバメ

ツバメ・オナガなどの鳥類も新たに選定されました。

市内には豊かな緑地や多摩川等の河川敷があり、先に紹介した鳥類の他にも、多くの種が生息しています。しかしながら、環境が変わってしまうと、多くの生きものの絶滅リスクが高まってしまいかもしれません。

身近な生きものが身近な存在でいられるよう、市内の豊かな自然環境を大切にしていきましょう。



「東京都の保護上重要な野生生物種」
(東京都環境局)



セッカ



ホオジロ



イワツバメ



カシラダカ



オナガ